

ご挨拶

今年の三月念願の中国公演が実現し、民族音楽の分野においてもようやく日中交流が始った感があります。日本音楽集団の中国との交流の発端は王燕樵氏（中国中央楽団作曲家）が作曲の勉強のため来日されたことに始まります。以来王氏には曲の委嘱や中国公演の橋渡し役など、いろいろお世話になってきました。今回の演奏会では、その王氏と中国の笛の名手張曉輝氏（中国東方歌舞団）それに二胡奏者の杜菊衷女士（北京歌劇団）ら、集団の仲間である三人をゲストに迎え、中国公演の際中央民族楽団と共演した曲を始め、これまで日本音楽集団や団員達にとっての「中国音楽との出会い」ともいべき曲を特集してみました。師走の今宵、邦楽器達の祖国中国に思いを馳せていただければ幸いです。（企画・制作一同）

●企画・制作 ● 藤崎重康・三橋貴風・竹井誠・米澤浩・秦川欣也・花房はるえ・内藤洋子・尾崎太一・内田とも子

賛助出演者

王 燕 樵

1937年北京に生まれる。
1952年中国青年藝術學院のオーケストラでバイオリンを演奏するようになる。
1957年中国中央音楽院作曲科に入学。
1960年～1963年ウルムチの新疆藝術學院の作曲教師を務める。その頃シルクロード民族音楽を収集研究する。
1964年「紅色娘子軍」（バレエ音楽）を呉祖強氏等と共同作曲する。
以来、管弦楽、映画音楽、ピアノ協奏曲等を次々に発表する。
1968年中国中央楽団に作曲家として入団。
1974年琵琶協奏曲「草原小妹妹」を呉祖強、劉徳海氏と共同作曲し、小沢征爾指

揮により演奏される。
1980年桐朋学園大学音楽学部外国人特別留学生として入学。末吉保雄氏に師事。日本音楽集団団友。

張 曉 輝

1942年天津に生まれる。
天津市第38中学在学中に国家の音楽英才教育方針により、北京音楽舞蹈院東方音楽科に入学。1960年フィンランド世界青年フェスティバルで金賞受賞。1962年笛独奏者として、中国東方歌舞団に入団。1975年には中国北京歌舞団とともに来日している。
1981年東京音楽大学に留学し、中国・日本の伝統音楽の比較研究及び日本の民族

楽器の演奏と作曲法を学ぶ。
現在、中国民間音楽研究会の講師として、笛、二胡教室を開き、日本人の奏者育成に務める他、演奏者としても活発に活動している。
日本音楽集団団友。

杜 菊 衷

北京に生まれる。
1961年北京戦友歌舞団管絃楽隊に入団。1963年胡弓を始め、中国胡弓の第一人者である藍玉松氏に師事。
1976年北京歌舞団管絃楽隊の大提琴奏者として入団。
1983年9月来日し、日本音楽集団で研鑽を積んでいる。

- プログラム——
1. 瑶族舞曲 (日本初演) 内田とも子編曲
 2. 清水江の夜 ～尺八と二十絃箏のために～ 王燕樵作曲
 3. 雁南飛 笛子協奏曲 張曉輝作曲
 4. 十面埋伏 王燕樵作曲

日本音楽集団 第80回 定期演奏会

～中国音楽との出会い～

昭和58年12月2日 **金** 午後7時開演
芝abc会館ホール

●入場料● 指定席券＝2,500円 (良いお席を確保、当日受付にて指定席券をお渡しします。前売のみ)
一般券＝前売2,000円・当日売2,500円
団体割引(自由席)＝10名以上1,500円

主催／日本音楽集団・現代邦楽協議会 お問合せ・電話予約／日本音楽サービス 電話378-4741

色が香りになった 紫のあでやかさ

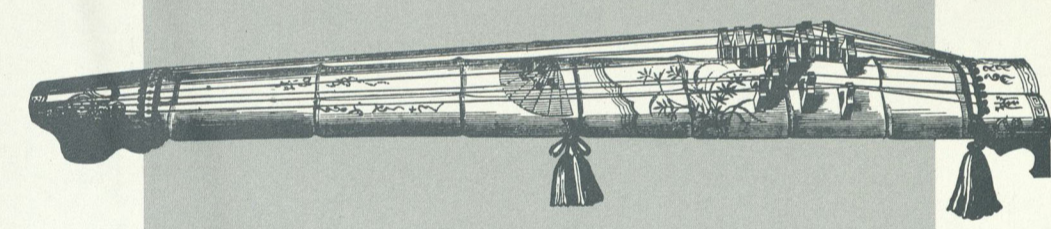


Murasaki
NEW YORK-PARIS-MILANO-TOKYO

世界で匂いたつ 日本の優雅

資生堂むらさき

●パルファム・10,000円 ●オードパルファム・3,000円 ●オードパルファム(ビュアミスト)・3,500円



日本音楽集団推薦

伝統に便利さを加えて——当店のすべての商品にクレジットがご利用になれます。

琴光堂和楽器店

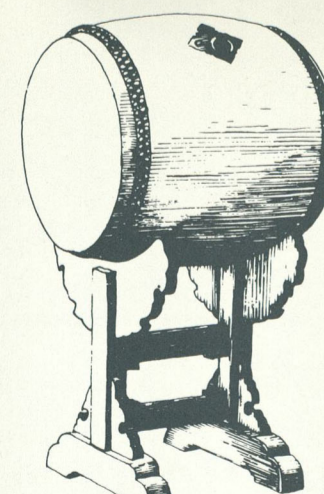
松本店 長野県松本市大手4-12-9 TEL 0263-32-3255
諏訪店 長野県諏訪市城南1-2562-6 TEL 0266-52-2341
東京店 東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL 03-792-8481



あなたの楽器は
守られていますか？
火災・破損・盗難にそなえ
安田火災におまかせ下さい。

事故のない日はない。こういったも過言でないほどさまざまな危険が私たちをとりまわっています。
車社会の進展や産業技術の高度の発達によって、災害の多様化・大規模化がすすみ、人びとの生活をまもる損害保険の必要性は日々高まっています。安田火災は、皆様のくらしを守ります。

安田火災海上 板橋支社 (03)962-7311
東京都板橋区本町38番9号



国立劇場・歌舞伎座御用達

- 太鼓各種製作・修理 (神社仏閣用、民俗芸能用、能楽長唄用)
- 神輿製作・修理
- 祭礼用具各種
- 御宮神祭具一式

●詳細カタログ進呈いたします。

創業文久元年 / 宮内庁御用達

●雅楽器のご用命は銀座店へ
宮内庁御用達の実績を誇る宮本の雅楽器。
銀座店の特設コーナーをご利用ください。

株式会社宮本卯之助商店

本 店 ●〒111 東京都台東区浅草6-1-15 ☎(03)874-4131代
西浅草店 ●〒111 東京都台東区西浅草2-1-1 ☎(03)844-2141代
銀 座 店 ●〒104 東京都中央区銀座7-108コリド一街 ☎(03)572-6321代

日本音楽集団 第80回 定期演奏会 ~中国音楽との出会い~

昭和58年12月2日(金) 午後7時開演 芝abc会館ホール

主催/日本音楽集団・現代邦楽協議会、お問合せ・電話予約/日本音楽サービス・電話378-4741

●入場料●指定席券=2,500円 (良いお席を確保、当日受付にて指定席券をお渡しします。前売のみ)
一般券=前売2,000円・当日売2,500円
団体割引(自由席)=10名以上1,500円

1. 瑶族舞曲 (日本初演) 内田とも子編曲

(笛) 西川浩平
(尺八I) 坂田誠山・水谷雅康(尺八II) 藤崎重康・竹井誠(尺八III) 福田輝久・秦川欣也(二胡) 杜菊妻
(三味線) 野口美恵子・田中悠美子
(琵琶) 半田淳子・田原順子
(箏I) 花房はるえ・出口裕子
(箏II) 木村玲子・内藤久子
(十七絃) 宮越圭子・石川憲弘
(打楽器) 尾崎太一・高橋明邦
(指揮) 田村拓男

瑶族は南中国の山岳地帯に住む少数民族で、民族としての歴史は非常に古い。古来固有の文字を持たず物語などは言葉で語り継がれている。その民族性は素朴で実直であり歌や踊りを好み、男女の交際にも歌を用いる風習がある。1950年頃この地を訪れた劉鉄山氏は、瑶族の民謡を聴き、この曲を合唱曲として作曲した。後に茅元氏により民族楽器による管弦楽曲に編曲されてから大変な評判となり数

多く演奏され、中国では知らない人がいない位に有名である。(王燕樵)

今年3月の日本音楽集団中国公演の際に、中国中央民族楽団と合同でこの曲を演奏しましたが、二胡の奏でる抒情的なメロディーに、団員達は皆心を打たれました。

今回は邦楽器用に編曲しましたが、胡弓パートは中国の二胡が演奏します。

2. 清水江の夜 ~尺八と二十絃箏のために~ 王燕樵作曲

(尺八) 三橋貴風、(二十絃箏) 吉村七重

中国西南のはずれ貴州省を流れる清水江、その河畔に古くから住みついている苗族の人々。彼達の間には多くの独特な風俗習慣を今に伝えているが、その内の一つに“歌方”(日本の歌垣という習慣に当る)という習慣がある。“歌方”では言葉に替えて、互いに伴侶を求めあうのである。夜のとばりが降りた頃、静かな南国の山野にて、若い男女が愛に酔いつ

いて語りあいお互いの理解を深めて、相手が自分にとって掛替のない人と思われた時、愛の歌を夜が明けるとまで夫らかに歌い続けるのである。清水江畔のこの心を打つ情景、このような古来からの自然な若者達の交際こそが、大いなる自然の中に生きる人間の永遠の愛の姿ではないだろうか。(王燕樵)

(三橋貴風委嘱 初演1982年11月1日 三橋貴風リサイタル)

3. 雁南飛 笛子協奏曲 張曉輝作曲

(笛子独奏) 張曉輝、(尺八) 米澤浩・秦川欣也
(箏) 内藤洋子 (十七絃) 滝田美智子
(打楽器) 尾崎太一・堅田啓輝・高橋明邦・伊藤映子

宋(960-1279)の時代の江蘇陽羨の人蔣捷の賀新郎の詞にもとずいて張曉輝氏が1982年に作曲したもので、次の三楽章からなっている。

第1楽章 <五湖秋暁>

五湖(江蘇省太湖)の湖畔の秋の夜明けを描

写している。早朝に馬がいなき、旅行く人々の出発は早い。空は淡く、月はかすかに天空にある。西風が吹き、秋を思わせる。

第2楽章 <万里江南>

江南の広々とした天地に雁が自由に翔き飛んでいる。簫の音がきこえる。

第3楽章 <参差白雁>

空を征く白い雁の列が、どうしたのか列を乱して、まばらに空の彼方へ飛んで行く。しかし江南の山やまは、静かに、雄然と横たわっている。

4. 十面埋伏 王燕樵作曲

(笛I) 藤崎重康 (笛II) 西川浩平
(尺八I) 宮田耕八朗 (尺八II) 竹井誠
(尺八III) 三橋貴風 (尺八IV) 水谷雅康
(尺八V) 福田輝久 (尺八VI) 米澤浩
(二胡) 杜菊妻
(三味線I) 木田幸子 (三味線II) 養田司郎
(琵琶I) 半田淳子 (琵琶II) 田原順子
(十三絃I) 坂井敏子 (十三絃II) 花房はるえ
(二十絃箏I) 吉村七重 (二十絃箏II) 内藤洋子

(二十絃箏III) 内藤久子
(十七絃I) 宮越圭子 (十七絃II) 木村玲子
(十七絃III) 松本和美
(打楽器I) 尾崎太一 (打楽器II) 堅田啓輝
(打楽器III) 高橋明邦 (打楽器IV) 伊藤映子
(指揮) 王燕樵

「十面埋伏」という曲は、有名な中国の琵琶の古典であり、随の時代にすでにあったと言われ、中国歴史上有名な項羽と劉邦の最後の

戦い“垓下の戦い”を写實的に描いたものである。この曲は内容的に布陣、軍楽、埋伏、小戦、大戦、項羽の自殺、漢の勝利等に分ける事ができる。この原曲にある古典は過去から現在に至るまで大きな変遷を遂げて来ており、以前からそれを整理してみたいという構想を持っていた私は、日本の方々へ中国の古典音楽を紹介してきたらという考えてこの作品

を書いたが、元来が琵琶の独奏曲であるために多くの新しい内容を、紀元前の音楽であるという設定の下に加える必要が生じた。そして私自身が今までに聞いたり研究してきた中国の古代の旋律を大量に補充した結果“埋伏”及び“項羽の自殺”の部分は原曲とは大幅に違ったものとなった。(王燕樵) (初演1981年6月12日 日本音楽集団No.65 定期演奏会)

日本音楽集団創立20周年記念作曲公募のお知らせ

日本音楽集団は来年、創立して20年目になります。記念事業の一つとして、従来も行なっていた作曲の公募を行ないます。積極的なご応募をお待ちしています。応募作品の中から一位に選ばれた作品は来年秋の定期演奏会で上演される予定です。また佳作についてもできるだけ上演機会を得られるよう努力します。審査は総譜を提出して頂き、譜面審査によって最終的に入選作を一曲と佳作二曲程度を選びます。詳しくは日本音楽集団事務局まで。☎378-4741

粹鏡銘尺八

原 正 司

茨城県新治郡千代田村大字下稲吉字逆西2605-41
〒315 (常磐線神立駅より10分)
電話 0298-31-7370

若い英才集団 三橋貴風と尺八ゾリステンジュニアが

耳なじみの深いクラシック音楽の名旋律をつづりました。



DoVador

歴史に刻まれる1日。

ピオラ界の世界的ホープ井上祐子が尺八の名手としても知られる作曲家・宮田耕八朗の作品に真正面から取組む。井上祐子はブタベスト国際コンクール優勝後ヨーロッパを中心に活躍中の若手。「優しく激しくピオラを存分に歌わせられる人」と宮田氏も最大限に絶讃する。「彼女のアルペジオ・ネソナタは音楽性、美しさ、幅の広さでフルニエを上回る」という声も少なくない。ある音楽通は「井上祐子さんの才能はあのロストロポーヴィッチ氏

と対置したい」とも打ち明ける。共演するのは音色の美しさ抒情性においてずば抜けた演奏家・白根きぬ子(箏)、アンサンブルにおいて最も信頼される格調高い演奏家・宮本幸子(十七絃)、先ごろ来日したドイツバハソリスティンと共演、聴衆を夢幻の境地に誘ったフルト界のプリンス大友太郎に加え、宮田耕八朗自身も演奏に参加する。この夜の興奮は聴く者の歴史に刻まれるに違いない。

宮田耕八朗作品の夕べ

ピオラ界の世界的ホープ 井上祐子を迎えて

●プログラム

みずほのうた
雨の水前寺にて
キビタキの森
独奏尺八のための二章
古典風二重奏曲
北風のとき
三重奏曲第1番
鶴の巣ごもり

●出演者

井上 祐子 ピオラ
大友 太郎 フルト
白根きぬ子 箏
宮本 幸子 十七絃
宮田耕八朗 尺八



宮田耕八朗



宮本幸子



白根きぬ子



大友太郎



井上祐子

1984年1月9日(月) PM7:00 石橋メモリアルホール ¥3,000 (全自由席)

入場券予約●日本音楽サービス(03)378-4741 宮田(03)953-1228
入場券前売所●銀座鳩居堂 渋谷東急1階東急観光 新宿伊勢丹6階ブレイガイド 池袋西武B館地下1階赤木屋ブレイガイド

主催 アフロディーテ (044)233-1858
マーク●池田理代子